

新 回復期リハビリテーション病棟、稼働しています！

東病棟（回復期リハビリテーション病棟） 看護課長 原 努

2019年4月より、当院は、新病棟として30床の回復期リハビリテーション病棟（東病棟）を開設し、専従医師 小林邦彦先生（整形外科専門医）が治療にあたっています。

新病棟は、たくさん窓をとり、自然の光に溢れたとても明るく開放的な空間です。そんな環境の中で、在宅に向けた集中的・積極的なリハビリテーションに取り組むことができます。



開放的なリハビリ室



通路も広く、歩行訓練される患者さんにも開放感があると好評です。

回復期リハビリテーション病棟は、全国的に増加傾向です。厚生労働省が考える回復期病床数の2025年推計値は37.5万床とされ、今後も増加が見込まれています。しかし、回復期病棟で行われる医療やケアの内容が具体的

に示されているとはいえ、その質は様々です。急激な増加に伴い、医療の質を維持・向上させていくことが大きな課題となっています。

当院は、脳卒中専門病院の中に開設された病棟であることから、急性期から一貫した脳卒中専門医療と継続したリハビリテーションを受けられるのが特徴です。



日常生活に必要な動作のリハビリを行います

回復期病棟では、継続した脳卒中専門医療を受けながら積極的にリハ

ビリテーションに取り組みます。リハビリ以外でも日々の生活の中に動作を取り入れ、リハビリなどの練習場面で「できる動作」を日常で「している動作」へと移行できるように、身体的・精神的な援助を行っています。また、在宅退院や退院後の生活を早期から考慮し、再発予防のための知識・技術の教育や支援に取り組んでいます。



日常生活に戻るを意識して～トマト栽培を、職員と行う。

今後は、回復期病棟の基準レベルをさらに

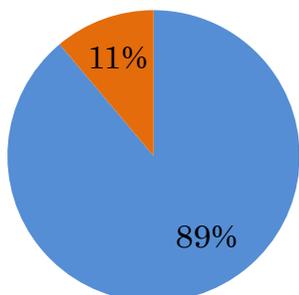
上げることと、より一層の各専門職の技術や知識を高め、患者さん入院して良かった、とだけ思ってもらえる病棟づくりを進めていきます。

	在院日数	在宅復帰率	入院時 FIM*	退院時 FIM	FIM 利得
当院回復期	62.9 日	88.9%	61.5 点	91.0 点	29.5 点
全国平均	85.6 日	68.6%	65.4 点	86.1 点	20.7 点

*FIM（日常生活自立度評価評）：点数が高いほど日常生活の自立度が高い

転帰先

■ 在宅・居宅系介護施設 ■ 急変による転院・転棟



(2019.7 現在)



自立歩行に向けて一緒に頑張らしましょう…！